

総務環境委員会 2011年度決算審査 田口一登議員

事業仕分けそのものがムダ。もうやめよ 市税金の無駄遣いをやめくらし優先に

敬老パスなど市民の福祉や暮らしを支える事業をやり玉にあげたのが河村市長の「事業仕分け」。事業仕分けそのものが無駄な事業です。

田口議員は、「事業仕分け」で「廃止を含む見直し」と判定された男女平等参画推進センター、リニア新幹線開業もからんだ「名古屋大都市圏戦略」の検討調査、利用が低迷しているのに2本目の滑走路を要望している中部国際空港について質問しました。

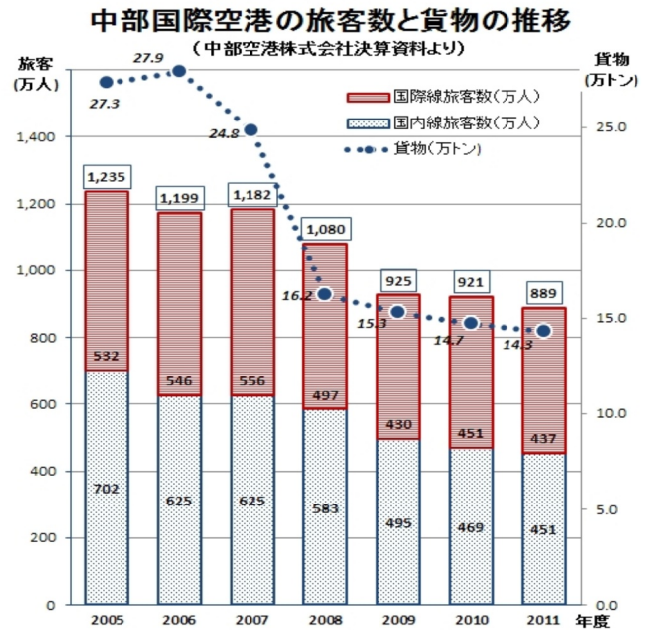
中京都構想・中京独立戦略本部はムダ

「中京都」構想を推進する「中京独立戦略本部の運営」は、800万円の予算額に対して決算額は20万円。ほとんど執行できていません。2人の本部長である河村市長と大村県知事の思惑のズレが背景にあることが要因で、3月30日に2回目の本部会議を開いて以降、開店休業状態となっています。田口議員は「もう止めたほうがいい」と指摘しました。

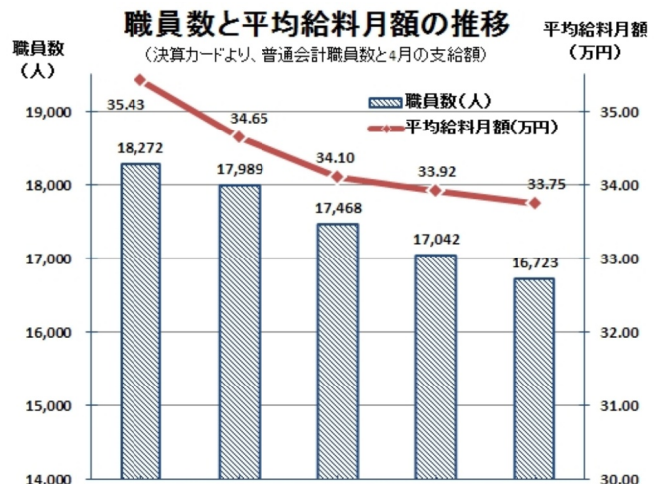
中部国際空港の旅客数は開業時の7割 二本目滑走路は必要なし

中部国際空港の昨年度の旅客数は約889万人でした。2005年の開業以来減り続け、開業時の7割余まで落ち込んでいます。それでも名古屋市は県や財界とともに国などに二本目滑走路の建設を要望しています。

田口議員は「航空需要が落ち込んでいるもとの、二本目滑走路の建設を要望する必要があったのか」と質問し、総務局は「24時間空港として運営していくために必要」などと答えましたが、滑走路が1本しかなかった名古屋空港の当時よりもお客さんが減っ



ているのですから、その必要はありません。巨費を投じる二本目滑走路建設に走るなら、将来に大きなツケを残すことになるでしょう。



市職員の傷病による求職者数 (4月1日現在)

	一般職			消防局			企業局(水道・交通・病院)			教職員等		
	休職者数	うち精神疾患	参考職員数	休職者数	うち精神疾患	参考職員数	休職者数	うち精神疾患	参考職員数	休職者数	うち精神疾患	参考職員数
2010年度	205	148	14,799	13	8	2,376	69	46	7,797	118	85	10,664
2011年度	186	134	14,368	12	9	2,372	73	47	7,749	119	84	10,815